

疾患名

コレステロール塞栓症

病気について

高血圧や糖尿病などを有しており動脈硬化のある患者さんにおきやすい疾患です。血管内カテーテル操作、抗凝固療法などをきっかけに動脈の壁にあるプラークからコレステロール結晶がはがれ、末梢の小動脈に塞栓を引き起こす病態です。進行性の腎障害、下肢の痛み、皮疹、好酸球の上昇などの症状を認めます。

治療について

抗凝固薬の中止、副腎皮質ステロイド薬、HMG-CoA還元酵素阻害薬、LDLアフェレシス療法等を状況に合わせて行います。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：なし

2012/11/1～2021/3/1の期間、先進医療Bとして一部施設にて実施されました。

アフェレシス治療の種類：LDLアフェレシス

回数：先進医療では、4週間で6回で実施されています。